



十七文字の抒情詩



未曾有の震災から早くも二カ月が過ぎようとして
います。
犠牲者の皆様やご家族様、被災された皆様へ心よりお悔みとお見舞い申し上げます。
DGの皆様の所は大丈夫でしたか？
今は私達が気持ちをひとつにしてこの災難を乗り越えなくては
いけないと、痛感しております。こんな時に俳句など悠長に詠んで
られない・・・そんな気持ちもありますが、こんな時だから・・・
という思いもあります。



投句いただいたうさおさん、ありがとうございます。



脚がくり余震におののく花見かな

本当に余震、どこまで続くのでしょうか。

＊膝頭余震に震へ花見かな



梅どうじゃ寒くて暑き日が続き

梅、寒い、暑い・・・季語が三つです。

＊梅見して気候のいまだ定まらず



萌えいづる春は余震に破られて

それでも春は必ずやって来るのです。被災地にも早く萌え萌えいづる春は
余震に破られて出づる春が訪れますように・・・

＊萌えいづる春を遮る余震かな



花ひらり復興を助ける友に降り

良い句ですね。桜の花びらに復興支援の方たちも癒された事でしょう。

＊花ひらと復興願ふ友に降り



たんぽぽを押して敷石揺れの跡

地震後の様子を詠まれたのですね、一読して解るように詠む事も大切です。
意味合いが違ってくるのかもわかりませんが、街の様子とたんぽぽの対比を
はっきりさせた方が良いと思います。

＊たんぽぽの咲く敷石や地震(なえ)の街





前額の髪の薄さと春の風

直接春の風とは関係ないのですが
やわらかな風が吹いて前髪が・・・
感嘆の切れ字（けり）を使うと感情も出てきます。

*** 春の風前髪薄くなりけり**

うさおさんの句もやはり震災を詠まれたものが多かったです。
一日も早い復興をお祈りいたします。



今回はうさおさんのみの投句でしたが、復興が進むと私達の心も少しはゆとりが出来るのかもわかりません。次号は皆さまの投句をお待ちしています。



日本の揺るがぬ心花万朶

命重し逝く猫軽ろし花万朶

愛読の「にやんにやん横丁」春の昼 ゆう子